

# 枕崎市 令和7年6月号 地域学校協働活動だより

パソコンで検索 **枕崎市地域学校だより** 検索

スマホで読み取り



発行  
枕崎市  
教育委員会  
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

## ～ボランティアによる読み聞かせが 始まりました～ 枕崎小学校

枕崎小学校では5月22日に、読み聞かせボランティアグループ「おむすびの会」の方々による、新年度最初の絵本の読み聞かせがありました。枕崎市内には読み聞かせボランティアグループが7つあり、それぞれのグループが市内8つの小中学校で、月に1回程度読み聞かせ活動を行っています。

それぞれのグループが読み聞かせを行っている学校は、次のようになっています。

- おむすびの会・・・枕崎小学校と枕崎中学校
- Smile Mama Book・・・桜山小学校
- すずの音(ね)・・・桜山中学校
- のはら'S・・・別府小学校
- おひさま・・・別府中学校
- たんぼぼのわたげ・・・立神小学校
- プーたんの会・・・立神中学校

この日は「おむすびの会」の4名の方々が、1年生と3年生の4クラスで読み聞かせを行いました。2月以来の久しぶりの読み聞かせでしたが、子供たちは楽しみに待っていてくれて、体を前のめりにして熱心に聞き入っていました。



1年生のクラスでの読み聞かせの様子



3年生のクラスでの読み聞かせの様子

## ～歴史の講演と史跡の現地学習で 「郷土について学ぶ」～ 立神中学校

立神中学校では、毎年1年生の総合の時間で郷土学習に取り組んでいますが、今年も枕崎市文化財保護審議会会長の牛山好治さんが、学校での講演と史跡などの現地学習指導を行い、1年生33名が郷土について学びました。

4月28日には、枕崎と南方の島々のつながりを中心に話をされ、松之尾遺跡で発見された「ゴホウラ製貝輪」や、立神中学校にある縄文時代の住居跡の遺跡などの話をしました。



立神中学校にある遺跡を説明する牛山さん

5月13日の史跡などの現地学習では、午前中に枕崎消防署近くの硫黄山岩崎寺跡を見学し、枕崎と硫黄島のつながりを学習しました。火之神公園では、火之神の山幸彦伝説や枕崎のシンボルである立神岩の説明がありました。

立神墓地内での「黒島流れ99人溺死の碑」では、「明治28年に枕崎で最大の海難事故『黒島流れ』が起こり、枕崎全体で411人、立神地区で99人の遭難者があった。これをきっかけに鯉節行商が始まった。」などの説明があり、生徒たちが「籠」や「ざる」を使って鯉節行商の体験を行いました。



「99人溺死の碑」で「黒島流れ」の説明

## ～今年は「紅さつま」を植え付け からいもの苗植え～ 枕崎小学校

枕崎小学校では、3年生が総合の「からいも探検隊」の授業で、「からいもの苗植え」から「いも掘り」まで行い、郷土の特産品である「からいも」に親しみながら育てています。今年5月12日に3年生の2クラス48名が「紅さつま」の苗を学校内の畑に植えました。

「紅さつま」は、鹿児島県で広く栽培されているサツマイモの品種です。赤色の皮と、中身は淡い黄色で、ホクホクとした食感が特徴です。鹿児島の暖かい気候を活かして甘くて美味しい芋に育ちます。

子供たちは、ボランティアの山崎己代治さんと松崎伸男さんに指導をいただき、マルチをかぶせた芋畑の畝に、竹の棒を使って上手に芋の苗を植えていました。

芋の収穫は10月になる予定です。子供たちは今から収穫を心待ちにしています。芋畑の草取りも分担して頑張るとのことです。



イモの苗の植え方を説明する山崎さん



竹の棒を上手にを使って苗を植える

立神地区公民館の青少年講座「ニュースポーツを楽しもう」が、5月10日に立神校区子ども会育成会との連携で、小学生20名、中学生2名、大人19名が参加して立神小学校体育館で行われました。

## ～青少年講座で ニュースポーツを 楽しみました～ 立神地区公民館



「いごてだま」の競技で熱戦中

市のスポーツ推進委員の小湊さん、柿元さん、上野さんの指導で、「雪だるまゲーム」「ランドリーピンチ」「うんだまころゲーム」「ツーツーゲーム」「いごてだま」の5種類のニュースポーツを元気一杯楽しみました。

「いごてだま」は、チーム対抗で、縦、横、斜め一列にお手玉を使ってマスに入れ、ピンゴをつくるゲームですが、チーム交互に赤と白のお手玉を投げ入れて熱戦が行われていました。

## ～親子で美味しいサンドイッチを作って 全員で試食～ 別府地区公民館

別府地区公民館の青少年講座「親子料理教室」が5月17日に行われ、小学生10名と保護者5名が参加して、俵積田たまみさんの指導で「野菜とフルーツのサンドイッチ」を作りました。



美味しいサンドイッチ作りに奮闘中

親子料理教室は、地域を割り振って年に3回行われますが、今回は俵積田と松崎の子ども会が親子で参加しました。

子供たちは、トマト・きゅうりを切ったり、泡立て器を使ってクリームを作ったり、奮闘しながら作業を行いました。出来上がったサンドイッチはみんなで一緒に食べて、残りはおみやげに持ち帰りました。



野菜とフルーツのサンドイッチが完成